

2019年7月30日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(江別地区)  
(2019年9月検針分)

旭川ガス株式会社  
(小売登録番号: B0003)

当社では、本日確定した2019年4月から2019年6月の平均原料価格に基づき、2019年9月検針分のガス料金(単位料金)を、2019年8月検針分に比べ1m<sup>3</sup>あたり2.72円(税込)下方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり11m<sup>3</sup>ご使用)への影響は、2019年8月検針分と比較して、30円の引き下げとなります。

○一般契約料金

(消費税込)

	使用量区分	基本料金 (円/月)	単位料金(円/m <sup>3</sup> )		影響額 (円/m <sup>3</sup> )
			9月	8月	
料金表A	0m <sup>3</sup> から 23m <sup>3</sup> まで	900.72	227.14	229.86	-2.72
料金表B	23m <sup>3</sup> を超え134m <sup>3</sup> まで	1,285.20	210.81	213.53	-2.72
料金表C	134m <sup>3</sup> を超える場合	3,164.40	196.79	199.51	-2.72

(注)各月のご使用量に応じて、A~Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響

(消費税込)

1ヶ月のご使用量	9月のガス料金	8月のガス料金	影響額
11m <sup>3</sup>	3,399 円	3,429 円	-30 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成26年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

\*ガス料金の計算方法

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金 (税込)} + \left( \text{単位料金 (基準単位料金(税込) + 原料費調整による調整額(税込))} \right) \times \text{使用量}$$

(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格} \times 0.9503 + \text{プロパン平均価格} \times 0.0546 \\ &= \underline{54,270} \text{ (円/t)} \times 0.9503 + \underline{56,080} \text{ (円/t)} \times 0.0546 \\ &= \underline{54,630} \text{ (円/t)} \text{ (10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

■原料価格の動向

(円/t)

	2019年4月～2019年6月 (9月検針分)	2019年3月～2019年5月 (8月検針分)	基準平均原料価格
平均原料価格	54,630	57,620	58,680
LNG平均価格	54,270	57,370	
プロパン平均価格	56,080	56,750	

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{54,630} \text{ (円/t)} - \underline{58,680} \text{ (円/t)} \\ &= \underline{-4,000} \text{ (円/t)} \text{ (100円未満切捨て)} \end{aligned}$$

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.084 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{ (円/t)} \times (1+\text{消費税率}) \\ &= 0.084 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \underline{-4,000} \text{ (円/t)} \div 100 \text{ (円/t)} \times 1.08 \\ &= \underline{-3.63} \text{ (円/m}^3\text{)} \text{ 小数点第3位以下の端数切上げ} \end{aligned}$$

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1m<sup>3</sup>あたり0.084円調整します

(円/m<sup>3</sup>)

	基準単位料金	単位料金調整額	9月単位料金
料金表A	230.77	-3.63	227.14
料金表B	214.44		210.81
料金表C	200.42		196.79

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(58,680円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m<sup>3</sup>あたり0.084円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が93,880円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は93,880円としてガス料金の調整を行います。